

ねっとわーく

市町村のページ〔特集：公民館と子どもたち〕

- ・みんなで子どもを育てる町に♪
……………北九州市赤崎市民センター
- ・自治公民館行事で育つ子どもたち……………福津市原町公民館
- ・大人と子どもが活動する公民館をめざして
……………立花町中央公民館
- ・野外スクール「おおう」について ……………大任町公民館

平成21年11月 公民館情報通巻115号

発行 福岡県公民館連合会

〒812-8575 福岡市博多区東公園7-7
福岡県教育庁教育企画部社会教育課内
TEL 092-643-3887 FAX 092-643-3889

特集：公民館と子どもたち



公民館教室「自然体験教室」(ネイチャー) (立花町中央公民館)

みんなで子どもを育てる町に♪

北九州市立赤崎市民センター

地域の概要

小石・赤崎校区は、若松区の北東部に位置しています。海側には、響灘埋立地が隣接しており、コスモス街道やエコタウン、風力発電、ひびきコンテナターミナルなどがあり、環境技術開発やリサイクル産業、国際物流拠点都市づくり等が進められています。一方、西側には、山や川、田畑が広がっています。「菖蒲谷キャンプ場」や「梅の名所仙凡荘」があり、自然にも恵まれた地域です。

「わんぱくひろば」(未就学児の子育てフリースペース)

今年度より、センターでの新しい取り組みとして「みんなで子どもを育てる町に♪」を目指し、地域に育つ子どもとそのご家族、そして子育てサポーターさんとの出会い、つながりあい、支えあい、育ちあいの「場」となるよう活動しています。さらに、子育てに役立つ情報提供やイベントなどを企画、実施して子育て支援活動を行っております。

「子どもが安全に遊べる場所が欲しい」「同年代の子どもを持つお母さんと仲良くなりたい」「子育てについての悩みなどを相談したい」というお母さん達が、お友達の家に遊びに行く様な感じで気軽に来ていただける『ひろば』です。また、子ども達には、同年代の子や地域の人達とのふれあいの中で社会性を学んでいける『ひろば』になって欲しいと願っています。

「わんぱくひろば」

日時 毎月第1・3金曜日
10時～11時30分
(第1は乳幼児なんでも相談日とし、身長・体重測定、育児相談なども行っております。)
場所 赤崎市民センター 多目的ホール



第3金曜日は保育園の先生や子育てふれあい交流プラザの方を講師としてお招きし、子育てに役立つ親育ち講座や、季節ごとの楽しいイベント等を企画、開催しています。

はじめての運動会



0歳児から未就学児までの子どもを対象に、初めての企画として運動会を開催致しました。平日の金曜日にもかかわらず、夏休み中だった事もあり、子どもが25名、保護者を含め合計70名もの参加がありました。

最初緊張気味だった親子も競技が進むにつれ仲良くふれあい、元気で賑やかな運動会となり、あっという間の楽しいひとときを過ごす事が出来ました。

問い合わせ先：赤崎市民センター 北九州市若松区西小石町8-2

TEL 093-751-1900 FAX 093-751-1840

E-mail: as-sf@ktqc03.net

自治公民館行事で育つ子どもたち

福津市 原町公民館

福津市西部に位置する原町区は、昭和30～50年代に造成された住宅地で、約1400世帯、3500人の人々が生活している。高齢化率は30%に迫り、6歳未満の幼児は200人に届かないという文字通りの少子高齢化の地域である。原町公民館では、このような現状を踏まえ地域の行事を公民館行事として見直し、リニューアルを進めてきた。

生まれ変わった伝統行事

行事の見直しで生まれ変わった伝統行事が、盆踊りと文化祭である。盆踊りは夏祭りを加え、アトラクションや出店に地域の人々や団体の参加を呼びかけた結果、子ども会育成会（3団体）を筆頭に個人、団体が参加する手作りの夏祭り盆踊り大会が実施されるようになった。今夏は地域の小学校で取り組まれている「ソーラン節」が子ども会によって演じられ、観客の盛んな拍手を浴びた。この演技に感動した自治会役員の声かけで、子どもたちの「ソーラン節」は敬老祝賀会の場でも演じられるなど、地域行事を通じた異世代間の交流は更に深まりを見せている。



餅つきがはぐくむ異世代交流

腕自慢やのど自慢の大人たちの独壇場だった文化祭を、子どもたちが地域の人々とふれあう場にする目的で餅つきを取り入れた。朝早くから子どもたちの賑やかな歓声や餅つきのかげ声、にこやかに子どもの手を取り教える大人たちの笑顔などが公民館前の広場で交錯するようになり、公民館が子どもたちの育つ場になったことを実感している。

問い合わせ先：原町公民館（〒811-3212 福津市福間南3丁目17-1）

TEL(FAX 兼用) 0940-42-0805

大人と子どもが活動する公民館をめざして

立花町中央公民館

立花町中央公民館を利用している住民は、大人、特に高齢者(60 歳以上)がほとんどである。従って、地域の教育力(ひと・もの・こと)を活かし、もっと若者が活動する公民館を目指すため、文部科学省の「学び合い、支え合い地域活性化推進事業(活動名称:とびかたやま体験活動)」に平成 19 年度より取り組んだ。

開設した教室は、地域の実態を考慮し 9 教室、指導者は、主として地域住民にお願いし、活動場所は、中央公民館や学校等地域の施設である。

2 年間公民館から積極的な支援に取り組んだ結果、大人は子どもの扱いや各教室の運営にも慣れ、平成 21 年度からは、全教室が自主的活動をしている。

高齢者にとっては、持っている教育力を活かす場としていき甲斐づくりの場となり、また、子どもにとっては、「生きる力」を学ぶ場となっている。

この活動への参加者は、未就学児 12 名、青少年延べ 162 名、青年 64 名、成人一般 88 名、団塊世代 8 名、高齢者 18 名(平成 21 年 3 月現在)である。

現在、全教室は、福岡県アンビシャス広場等連携事業(たちばなアンビネット)に参加し、平成 21 年 12 月 6 日(日)の発表会に向けて活動している。

(開設した教室は下記のとおりである。)



(1) たいこ教室「もみじ太鼓」



(2) ダンス教室「フレンズ」



(3) コーラス教室「コスモス」



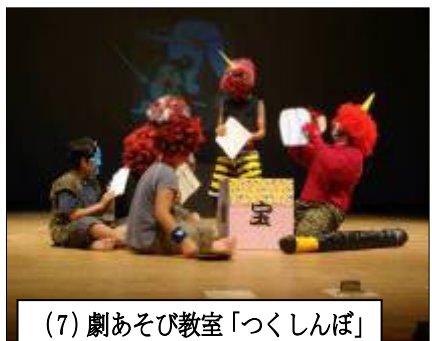
(4) 器楽教室「アローズ」



(5) 子育てサークル教室
「ウルトラかあちゃんず」



(6) 昔あそび教室「サーチ」



(7) 劇あそび教室「つくしんぼ」



(8) 自然体験教室「ネイチャー」



(9) 少年野球教室「ブルースカイ」

問合せ先:立花町中央公民館 (電話:0943-37-1522 Fax:0943-37-1532)

野外スクール「おおとう」について

大任町公民館

この事業は、集団生活の中で自然とふれあいながら仲間と協力して食事・もの作りを行い協調性・自主性・創造性に富んだ青少年の育成を図ることを目的とし、平成2年より取り組んでいます。

小学生4～6年生を対象とし年間4回、第1，2，4回目は、1泊2日公民館と町営キャンプ場で、3回目は、2泊3日町外の施設で開催しています。



主な活動内容

- キャンプ活動・・・テント設営・野外調理
- 手作り活動・・・竹細工・陶芸
- 美化活動・・・缶拾い・除草作業
- スポーツ活動・・・カローリング・
グランドゴルフ
- 人権学習

夏休み中に行われる第3回目については、大分県立香々地青少年の家へ宿泊し、イカダや釣り、海での活動を体験します。



実施にあたっては、小学校教諭、大学生、地域の方々に支えられ活動をしています。

家庭ではできない体験も多く、保護者、児童からも好評で参加者も年々増加傾向にあります。



平成21年度については急遽、新規事業として通学合宿を開催するようになりましたので、野外スクールとはまた違った体験活動ができるよう取り組み、3年後には通学合宿の体験を活かした野外スクールが展開できるようになると思います。

問合せ先：大任町公民館 TEL 0947-63-2242